

改修補強工事のための募金のお願い

＋主の平和が皆様とともにありますように。

この度は皆様のお力添えをいただきたく、全国の諸教会、関連諸施設に協力をお願いいたします。

林間聖バルナバ教会の現在の教会建物は1995年11月3日に聖別落成したものです。聖堂と会館が一階にあり、会館の上部が司祭館という聖堂、会館、司祭館が一体の建物です。

今から4年前になりますが、建物の一部が白蟻に侵食されていることを確認し、被害箇所の調査を行いました。被害は甚大で土台の多くの部分が食い荒らされていました。2年前より更なる侵食被害を食い止めるための工事を継続してまいりました。

会館部分は白蟻による土台の侵食により、柱が沈下しているため、上部の司祭館の床は大きいところで3センチ沈んでおり、建物の変形が進み、床の傾斜とたわみが強く、閉まらない扉も複数あります。

昨年継続工事の際、新たに会館壁内に雨漏りによる柱の腐敗が確認されました。土間コンクリート内部の白蟻による侵食もそうですが、壁内の雨漏りによる腐食も見えない所の被害であるため長年気づくことなく被害が進んでしまいました。

白蟻による侵食、柱沈下による建物の変形、雨漏りによる壁内の腐敗と、現在の建物の継続使用自体が危ぶまれる現状を受けとめ、耐震診断の専門家に耐震診断も含めた建物の細部にわたる調査を依頼しました。その結果、現在の建物が耐震面にも課題があることが確認されましたが、この調査により必要な改修補強工事を行なえば、白蟻の問題、雨漏り

の問題、沈下の問題、耐震性の問題、これら4つの問題をすべて克服できることも判明しました。

必要な改修補強工事を行なえば現行の耐震基準を満たした安全な建物に生まれ変わり、白蟻、雨漏り、沈下の問題も克服できる、ぎりぎりのところで明るい展望が見えてきたのですが、この建物は築24年、想定していた建物維持に必要なことは10年に一度の外壁塗装とその他の軽微な補修程度です。この度の総工費と安全のための司祭家族の仮住まい等々の諸経費を含めた約3千万円に自己資金は程遠く、5百万円が当教会の手元にある建築資金です。

信徒に限らず、地域の方々の出入りもある教会です。教会建物が安全であるというのは建物が立っている以上必須の条件です。建物の状況が状況だけに、可及的速やかに改修補強工事を実施する必要があります。重大な何かが起こる前に安全な建物に生まれ変わるよう、2020年4月1日から4ヵ月の予定で改修補強工事を実施いたします。

今年の11月3日でこの建物は献堂25周年を迎えます。聖パウロは「そればかりでなく、苦難をも誇りとします。わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。」(ロマ54)と言っています。この度の建物の諸課題を前に肩を落として落胆するのではなく、課題の克服に力を合わせ、キリストの教会として成長していく機会として取り組んでいきたいと思っております。

皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

林間聖バルナバ教会牧師
司祭 ルカ 片山 謙

✦主の平和をお祈りいたします。

林間聖バルナバ教会は1964年5月「林間伝道所」として開設が認可され、翌年2月に教会設立認可、1967年7月に最初の礼拝堂が聖別されました。

その後、礼拝堂・会館・司祭館が一体となった建物が新築され、1995年11月には礼拝堂聖別式と会館・司祭館の落成祝福が執り行われました。

それから20年ほど経った4年前、土台が白蟻によって食い荒らされていることが判明し、更に雨漏りによる柱の腐食も確認されました。専門家による診断の結果、このまま使用するには耐震性に問題があり、使用に当たっては危険性を排除できないとの認識から、こうした大規模改修が必須となりました。

長期的な建物の維持管理計画の中でこの総事業費3000万円は予定外の非常に大きなものですが、ゼロから建て直すことを考えますと、何とか手の届くぎりぎりのものと現地は判断し、教区もその熱意を受け止め、これを了承しました。

新型コロナウイルス感染拡大が収まらない中、皆さまにお声掛けすることには躊躇も多々ありました。しかし、これだけの大きな工事ということもあり、教会がこの地にあって引き続き神のさまの栄光を現してゆくため、そして緊急性と安全性を踏まえて熟慮に熟慮を重ねた結果、工事を進めることを決断いたしました。つきましては、主にある皆さまのお支えをいただきたく、ここにお願いする次第です。ご高配いただけますれば幸甚でございます。

主にありて
横浜教区主教

主教 イグナシオ 入江 修



↑白蟻に侵食され朽ち果てた会館（室内）の土台。



←長年の壁内の雨漏りで腐敗した柱と筋交と土台の接合部分。石膏ボードの内側。建物の外見上はよい状態を保っていますが、見えない所の傷みは深刻な状態です。

募金概要

募金目標額 500 万円

総事業費 3,000 万円

工 期 2020 年 4 月～7 月

資金計画 自己資金 500 万円

借入金 2,500 万円

募金期間 2021 年 3 月末まで

送金先 郵便振替口座

日本聖公会横浜教区

00270-1-3091

【林間聖バルナバ教会略史】

- ◇ 1962 年 4 月、信徒宅での礼拝が始まる。
- ◇ 1964 年 5 月、伝道所開設。
- ◇ 1965 年 2 月、教会設立認可を受ける。
- ◇ 1966 年 9 月、現在地に移転する。
- ◇ 1995 年 11 月、現在の礼拝堂を献堂し、聖別される。

改修補強工事のための 募金のお願い



日本聖公会 横浜教区

林間聖バルナバ教会

〒252-0311 神奈川県相模原市南区東林間 1-26-3

TEL/FAX 042-742-8360

URL <http://www.rinkan-barnabas.com/>